「い」で始まる語彙辞典（マイナー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「い」で始まる語彙辞典（マイナー） 4

おわりに 18

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「い」で始まる語彙辞典（マイナー）

い - き【依稀】
［ト・タル］［形動タリ］
明らかでないさま。ほのかなさま。かすかなさま。「―たる活気を帯ぶ」

いくひ - の - たるひ【生日の足日】
物事が生き生きとして栄え、満ち足りた日。神事・儀式の日を祝っていう。吉日。

い - けつ【遺闕】
欠けていて足りないこと。

いくさ - ひょうじょう【軍評定】
合戦の前に行う作戦会議。

い - こう【衣香】
衣服にたきしめる香。また、その香り。

い - こう【衣桁】
室内で衣類などを掛けておく道具。木を鳥居のような形に組んで、台の上に立てたもの。衝立(ついたて)式のものと、2 枚に折れる屏風(びょうぶ)式のものとがある。衣架(いか)。御衣(みぞ)懸け。衣紋掛け。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

い - し【頤指／頤使】
［名］（スル）
あごで指図して思いのままに人を使うこと。

い - しゅ【異趣】
普通と異なったおもむき。風変わり。

い - しゅ【遺珠】
《「荘子」天地から》
① 拾われないままで残っている玉。
② 世間から忘れられている人物。また、人に知られていない詩文の傑作。

いしゅ - がえし【意趣返し】
［名］（スル）
恨みを返すこと。しかえし。復讐(ふくしゅう)。

いしょう - びつ【衣装櫃】
衣装を保管しておく大形の箱。

いしょう - の - せい【帷牆の制】
君主が侍女や近臣に抑えられて、その力を発揮できないでいること。

い - じ【異時】
ほかの時。他日。「―的雌雄同体」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

何(いず)れ菖蒲(あやめ)か杜若(かきつばた)
《アヤメとカキツバタは似ていて区別がつきにくいところから》
どちらも優れていて優劣がつけにくいこと。

い - せい【以西】
その地点を含めて、それより西。⇔以東。

い - せい【医聖】
大変すぐれた医者。聖人として崇拝されるほどの名医。ヒポクラテスなどをいう。

い - せい【異星】
他の星。地球以外の星。

い - せい【遺制】
昔の制度で今にのこっているもの。「封建時代の―」

い - せき【偉績】
偉大な功績。大功。

いそう - がい【意想外】
［名・形動］
思いもよらないこと。また、そのさま。予想外。意外。「―な好成績」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

い - ぞう【遺贈】
［名］（スル）
遺言により、財産を他人に贈与すること。「コレクションを母校に―する」

い - ぞく【異俗】
風俗が変わっていること。変わった風俗。異習。殊俗。

い - ぞく【遺俗】
今に残っている昔の風俗。

い - たく【遺沢】
後世まで残る恩沢。

い - たく【遺託】
故人の残した頼み。遺嘱。

板子（いたご）一枚下（した）は地獄
船乗りの仕事が危険であることのたとえ。一寸下は地獄。

いた - ごと【痛事】
非常につらく、困ったこと。特に、費用が多くかかること。

いただき - だち【戴き立ち】
酒食のもてなしを受けてすぐ席を立つこと。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

鼬(いたち)の無き間(ま)の貂(てん)誇
《天敵のイタチがいないとテンがいばる意から》
恐れるものがいない所で大いばりするたとえ。鼬の無き間の鼠(ねずみ)。

いたのま - かせぎ【板の間稼ぎ】
銭湯などの脱衣場で、他人の衣服・金品などを盗むこと。また、その者。板場稼ぎ。

いたり - りょうり【至り料理】
手がこんでいて、ぜいたくな料理。

い - だ【委蛇】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
くねくねと曲がっているさま。いい。「―たる小道」

い - だく【唯諾】
［名］(スル)
人の言うことをそのまま承知すること。また、その返答。

いちい - の - みず【一葦の水】
幅の狭い水の流れ。一衣帯水。

いちえい - いちらく【一栄一落】
《春には花が咲き、秋には葉が落ちるところから》
人が栄えたり衰えたりすること。「―を繰り返す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いちげん - こじ【一言居士】
どんな事についても、なにか自分の意見を言わないと気のすまない人。

いち - だ【一朶】
① 花のひと枝。また、一輪の花。「―の桜」「―の白百合(しらゆり)」
② ひと群れ。ひとかたまり。「―の雲」

いち - とんざ【一頓挫】
順調に運んできた物事の勢いが、中途で急にくじけてしまうこと。いっとんざ。「計画に一頓挫をきたした」

一(いち)の裏は六
さいころの一と六とが裏表であるように、生きていくうちには、よいこともあれば悪いこともあり、それが循環するものだ。

一分(いちぶん)が立・つ
一身の面目が保たれる。一分立つ。「リーダーとしての―・たない」

いちめん - かん【一面観】
一つの方面からだけの見方。全体を見ない見方。

いちもん - ふち【一文不知】
文字を１字も読み書きできないこと。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いっ‐き【逸機】
［名］（スル）
機会を逃すこと。チャンスを失うこと。「前半に逸機したのが敗因だ」

一粲（いっさん）を博（はく）・す
お笑いぐさになる。自作の詩文などが人に読まれることを謙遜して言う言葉。

一指（いっし）を染・める
物事にちょっとかかわる。

いっせき‐がん【一隻眼】
① 一つの目。隻眼。
② ものを見抜く特別な眼識。独特の批評眼。「―を具する」

いっ‐そう【逸走】
［名］（スル）
走って逃げること。また、一定のコースからそれて走ること。

いっ‐てき【一擲】
［名］（スル）
一度にすべてを投げ捨てること。「微温的態度を一擲する」「乾坤（けんこん）一擲」

いっ‐とう【一灯】
一つの明かり。比喩的に、善意を示すわずかな寄付の意に用いる。「貧者の一灯」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

一敗(いっぱい)地に塗(まみ)・れる
《「史記」高祖本紀から》
二度と立ち上がれないほど大敗してしまう。

いつ - び【溢美】
褒めすぎること。過賞。「決して―の言ではない」

いつ - ゆう【逸遊】
気ままに好きなことをして日を過ごすこと。

いつ - りゅう【溢流】
［名］(スル)
あふれ流れること。「堤を決して―した」

い - とく【威徳】
厳かで徳の高いこと。威厳と人徳。「―が備わる」

い - とく【遺徳】
死後にまで残るその人の人徳。後世にのこる恩徳。「故人の―をしのぶ」

いどみ - がお【挑み顔】
［名・形動ナリ］
張り合おうとする気勢が見える顔つき。また、そのさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いなか - まわり〕【田 - 舎回り】
① 商人・芸人などが田舎を回って稼ぐこと。また、その人。どさまわり。「―の役者」
② 官吏・会社員などが、地方の支所・支店などに移り勤めること。

い - なん【以南】
その地点を含めて、それより南。

意(い)に中(あた)・る
気持ちにかなう。思っていた通りになる。

いぬ - い【犬居】
犬が座っている姿勢。人がしりもちをついた姿や、両手を地面について座り込んでいるようすをいう。

いぬ - くぐり【犬潜り】
犬が出入りできるように垣根や塀などに設けた小さい穴。

犬(いぬ)の遠吠(とおぼ)え
臆病な人が陰でいばり、陰口をたたくことのたとえ。

命(いのち)を的(まと)に懸・ける
命がけで物事をする。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

い - はい【違背】
［名］（スル）
規則・命令などにそむくこと。違反。「指令に―する」

い - はく【威迫】
［名］（スル）
威力を示して相手を脅し従わせようとすること。「強談―」

い - はつ【遺髪】
死者の形見としてのこされた髪。

い - ひつ【遺筆】
故人が生前に書いておいた書画や文章など。

い - ふう【威風】
威厳・威勢のあること。威容。「―辺りを払う」

い - ふう【異風】
① 普通と異なった風俗・風習。
② 普通でない姿。異体。異俗。

い - ふう【遺風】
① 後世に残っている昔の風習・習慣。「封建時代―」
② 後世に残っている先人の教え。「古人の―を慕う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

威福(いふく)をほしいままに・する
思うままに威圧したり、時には福徳をほどこしたりする。

い - ぶ【威武】
威力と武力。勢いが盛んで強く勇ましいこと。武威。「天下に―を示す」

い - ぶん【異聞】
人の聞き知っていない話。普通にいわれている内容と違う珍しい話。

い - ほう【遺法】
過去から現代に引き継がれている法や制度。遺制。

い - ほく【以北】
その地点を含めて、それより北。

色気(いろけ)より食(く)い気(け)
色欲よりも食欲のほうが先であること。転じて、見えを捨てて実利をとること。

鰯(いわし)の頭も信心から
イワシの頭のようなつまらないものでも信心する人には尊く思われる。物事をかたくなに信じる人を揶揄(やゆ)するときなどにもいう。

いん - う【陰雨】
① しとしとと降りつづく陰気な雨。
② 空が曇って雨が降ること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いん - か【印加】
［名］（スル）
装置に信号を送ったり、電圧を加えたりすること。「ガラスには電圧を―しても電流は流れない」「―磁場」

因果（いんが）を含・める
道理をよくよく言い聞かせて納得させる。やむをえない状況を説いてあきらめさせる。「―・めて二人を別れさせる」

いん - きゅう【飲泣】
［名］（スル）
声を抑えながらしのび泣くこと。

いん - ぎゃく【淫虐】
みだらで残酷なこと。

いん - けつ【引決】
［名］（スル）
責任を負って自殺すること。

いん - けん【引見】
［名］（スル）
地位の高い人が、人を呼び入れて対面すること。「法王が使節を―する」

咽喉（いんこう）を扼（やく）・する
のどを押さえる。転じて、重要な地点を占める。「東西貿易の―・する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いん - しょう【引証】
［名］（スル）
証拠として引用すること。「古い文献から―する」

いん - しょう【引照】
［名］（スル）
他の事柄やものと引き比べること。文献などを照らし合わせること。「別の訳本と―する」

いん - しん【陰森】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
樹木が生い茂って暗いさま。「―として、日を蔽う森の梢を仰ぎ見て」

いんじゅん - こそく【因循姑息】
［名・形動］
古い習慣に頼って、その場をしのごうとすること。また、そのさま。「―な手段」

いん - とう【淫蕩】
［名・形動］
酒色にふけってだらしがないこと。また、そのさま。「―な生活」

いん - とく【陰徳】
人に知られないようにひそかにする善行。隠れた、よい行い。「―を積む」⇔陽徳。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

いん - とく【隠匿】
［名］（スル）
① 人目に触れないように隠しておくこと。「物資を―する」
② 隠れた悪事。心の中に持った罪悪。「―心」

員（いん）に備（そな）わるのみ
員数には入っているが、役にたたない。実権を持っていない。

いん - び【淫靡】
［名・形動］
男女の関係、風俗などが乱れていること。また、そのさま。「―な雰囲気」

いん - ぼつ【湮没】
［名］（スル）
跡形もなく消えてなくなること。湮滅。

いん - ぽん【淫奔】
［名・形動］
性関係にだらしのないこと。みだらなこと。また、そのさま。多く、女性についていう。「―な娘」

いん - わい【淫猥】
［名・形動］
情欲を刺激する、下品でみだらなこと。また、そのさま。「―な小説」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.